

令和6年度 朝霞市立朝霞第十小学校 学力向上プラン



学校教育目標

- 意欲のある子
- 考える子
- 健やかな子

学力向上プランにおける目標

- ・学級経営を基盤とした授業改善
- ・深い学びを実現するための表現力育成

目指す学校像・児童像・教師像

豊かな学びで楽しさと笑顔あふれる朝霞十小
 学校力 …豊かな学びを実現し、笑顔と活気あふれる信頼される学校
 人間力 …当たり前前の方が当たり前前のできる子供
 教師力 …高い倫理観と使命感、自覚と誇りを持ち、学び続ける教師
 チーム力…フットワーク・ネットワーク・チームワークで、保護者や地域の信託に応えるチーム朝霞十小

国語

- ・文章構成の記述や推敲における習熟度の差が大きい。
- ・文章を書くことについて苦手意識を持っている児童が多く、埼玉県学力・学習状況調査では、特に4・5年生の二段落で文章を書く問題において、無解答率が30%～40%と高い割合になっている。

<目指す児童像>

- 自分の思いや考えをもち、相手にわかりやすいように書いたり発表したりして表現することができる子
- 伝え合うことで、自分の考えを深める子

算数

- ・小数や分数の計算、図形やデータを読み取る力が弱い。
- ・低位層の伸びに比べ、中位層の伸びが小さい。
- ・埼玉県学力・学習状況調査では県平均を超えているものが多いが、個人差があり、個別支援が必要。
- ・問題解決的な学習を中心に、自分の考えを説明し、話し合いによって理解を深める授業展開を工夫する。
- ・特に、中位層への支援の仕方を工夫する。

<目指す児童像>

- 積極的なコミュニケーションによって、理解や自分の考えを深める子

学級経営の改善

- ・全ての学習の素地である、よりよい「学級集団づくり」を全職員で共通理解、共通行動のもと、推進、改善していく。
- ・学級経営の改善により、学習方略や非認知能力の向上を図り、学力全体の底上げを図る。

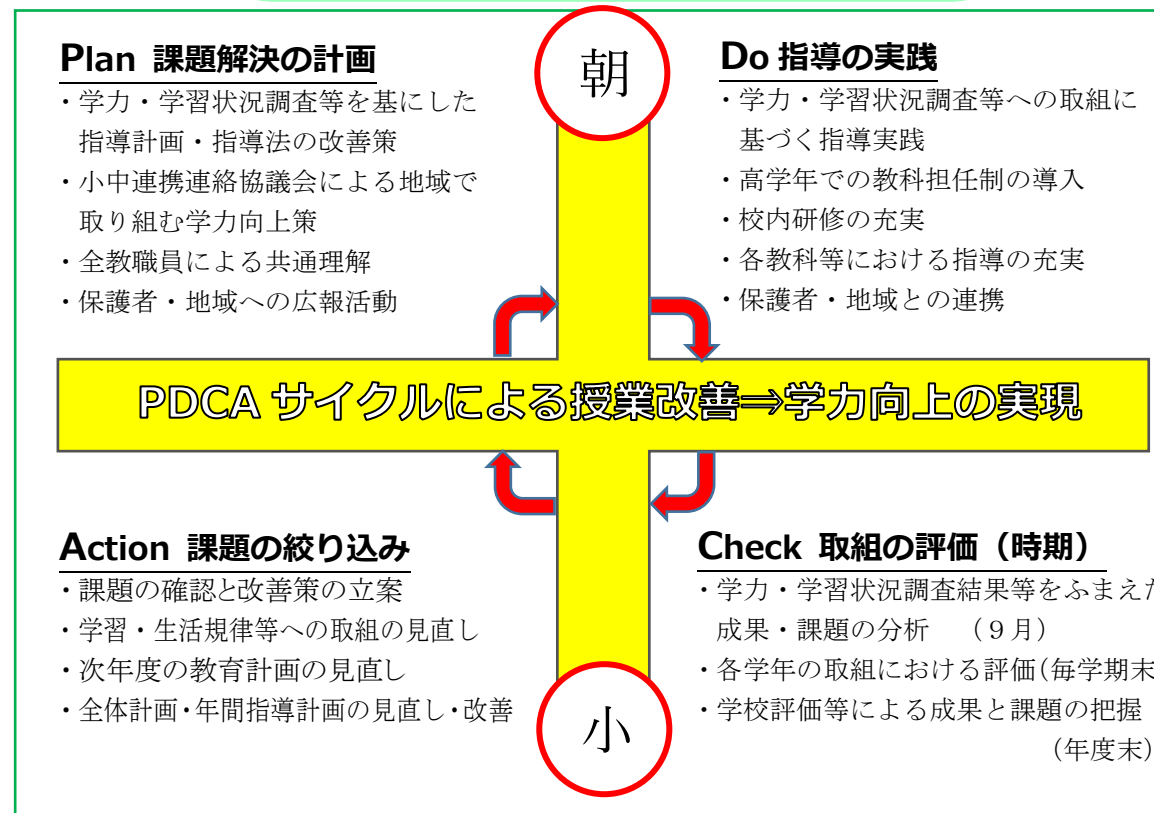
<目指す児童像>

- 楽しく豊かな学級生活を送るために必要な態度を理解し、実践できる子

重点教科等

学習における目指す児童像

- 自分の思いや考えを相手にわかりやすく表現できる子
- 目的意識をもち、学習に進んで取り組む子



具体的な取組

○スキルアップタイムの取組

- ・学年ごとに決めた教科について、意欲や関心が高まるような取り組みを行う。その教科の楽しさや面白さに気づけるようにする。(毎月第3火曜日の朝の時間を中心)

○問題解決的な学習への取組

- ・各教科で自力解決の時間を確保し、主体的に表現できるようにする。
- ・資料・情報などを活用した学習に取り組む。

○表現力の育成

- ・「目的意識」をもたせることで、相手にわかりやすく表現する力を高める。

○学び方の工夫

- ・様々な場面で主体的に学び続けることができるように、それぞれの児童に合った学び方を、自ら選択できるようにする。

○個に応じた指導の充実

- ・少人数指導、TTを有効に活用する。
- ・習熟度に応じた「伸び」のある授業を行う。

○学級経営の充実

- ・児童一人一人が認められ、よさや可能性を發揮でき、他者の失敗や短所に寛容で共感的な学級の雰囲気(支持的な風土)を醸成していく。
- ・よりよい学級づくりのための取組を実施する。
- ・児童の「互いに認め合う」「人の役に立つ」ことを大切に学級作りを行う。

○家庭学習の充実

- ・対話的な活動を家庭学習に取り入れる。
- ・各調査に適応できる問題に取り組む。

○読書活動の充実

- ・週1回の朝読書タイムを行う。
- ・図書館を積極的に活用する。
- ・ハッピーさん(ボランティアによる読み聞かせ)を有効活用する。

令和6年度 校内研修 研究主題

「主体的に活動する児童の育成」

～個別最適な学びと協働的な学びの実現～

○ブロック研修 研究授業の実施



令和6年度 朝霞市立朝霞第十小学校 学力向上プラン

<本校の児童に身に付けさせたい学力>

- ①基礎的基本的な知識・技能（学習規律含む）
- ②知識・技能を活用するための思考力・判断力・表現力 及び、聴き合い、伝え合うコミュニケーション能力
- ③主体的に学習に取り組む態度・意欲

<学力向上の手立て>

- ①意図的・計画的に授業を展開し、基礎基本の定着を図る学習活動を行う。【個別最適な学び】【基礎的基本的な知識・技能】
- ②意見の交流や説明の場の設定など、言語活動の充実を図る学習を行う。【協働的な学び】【対話的な学び】【深い学び】
- ③見通しと振り返りを意識した学習、体験的・問題解決的な学習を行う。【主体的な学び】【深い学び】

<各教科等の授業改善の手立て>

- 【国語】①モジュールの時間等を活用し、漢字の読み書き、音読・朗読・暗唱、要約、書写、読書、語彙を増やす活動を計画的に行う。
- ①目的に応じて、どのような情報が必要なかを明確にして読む(聞く)ようにする。
 - ①②相手や目的を明確にし、どのように話す(書く)と伝わりやすいか考えて話す(書く)活動を充実させる。
 - ③単元及び本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【社会】①③調べた社会的事象と覚えなければならない事柄を関連付けた学習の振り返りを行う。
- ②社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を充実させる。
 - ③単元及び本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【算数】①意図的・計画的な繰り返し学習を設定し、TT や少人数指導を通じた個に応じた指導を行う。
- ②自分の考えを言葉や図などで表現させるとともに、相手に伝わるように説明する学習を充実させる。
 - ③体験的・問題解決的な学習、並びに見通しと振り返りを意識した学習を行う。
- 【理科】①観察・実験等の手順を確実に身に付けさせるとともに、知識の定着を図るための学習を計画的に行う。
- ②③仮説の妥当性を検討したり、観察・実験の結果を分析し、整理して、考察・表現したり、改善策を考えたりする活動を充実させる。
 - ③自然の事物・現象や学習後の新たな疑問を生かして問題を設定し、考えた仮説をもとに結果の見通しをもたせた上で、観察・実験等を行う。
- 【生活】①②③活動や体験を振り返り、そこから学んだことや考えたことを書き、交流する活動を充実させる。
- ③本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。
- 【音楽】①音楽のよさや美しさを感じ取りながら、思いや意図をもって表現する活動を充実させる。
- ②聴き取ったことや感じ取ったこと、自分の思い等を言葉で表し、交流する活動を充実させる。
 - ③本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。

<授業以外の取組>

- 学習環境の整備 ・教材・教具の工夫・学習ルール・みんなの約束・生活目標等の掲示・ICT 機器の効果的な活用
- 読書活動の充実 ・ボランティアによる読み聞かせの充実・児童や教師へのアンケートを活用した本の購入
・図書館まつり(十小絵本大賞・先生のおすすめの本の紹介)の実施
- 人材活用の推進 ・小学校低学年補助教員、あさかスクールパートナー、学校図書館パートナースタッフ、小学校専任外国人講師、学校応援団、学生ボランティア等の活用推進
・ステップアップ教室(金曜5校時終了後の算数を中心とした学習指導)の充実(3年生)
・授業支援(学校応援団による授業のサポート)の充実(3年)
- 教職員の資質向上 ・学校課題研究の推進・一般研修の計画的実施

<学校研究(全教科)より>

【研究主題】

「主体的に活動する児童の育成」

【研究仮説】

- ・児童が相手意識・目的意識をもてたり、達成感を味わえたりするような課題設定にすれば、児童がワクワク感、必要感をもって学習を見通しながら主体的に活動に取り組むことができるのではないか。
- ・それぞれの児童に合った学び方を、自ら選択することで、児童が様々な場面で主体的に学び続けることができるのではないか。

【図画工作】①様々な表現方法を身に付ける活動や、それぞれの作品の表現のよさを感じさせる活動を充実させる。

- ②互いの活動や作品を見合いながら、感じたことや考えたことを伝え合う活動を取り入れる。
- ③本時の学習の目的や課題を明確にし、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。

【家庭】①学んだことや習得したことを活用する活動を充実させる。

- ②③学習活動や体験を振り返り、そこから学んだことや考えたことを書き、交流する活動を充実させる。
- ③日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、学習活動への目的意識や見通しをもたせる。

【体育】①練習方法や活動の場を工夫し、基本的な動きや技能を身に付ける活動を充実させる。

- ②互いの動きを見合いながら、感じたことや改善点を伝え合う活動を取り入れる。
- ③本時の学習の目的や課題を明確にし、活動への目的意識や見通しをもたせる。また、学習を振り返り、次時の目標を設定させるようにする。

【外国語活動・外国語】①外国語の音声リズム、アルファベットに慣れ親しむ活動を充実させる。

- ②③実際に外国語を聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり・発表)、書くことを通してコミュニケーションを図る楽しさを体験する活動を充実させる。

【特別の教科 道徳】①終末場面で自己を見つめる活動を充実させる。

- ②対話を中心としながら、多面的、多角的に考えさせる。
- ③みんなで解決したいと思える課題や問いをもたせ、振り返りにつなげるようにする。

【総合的な学習の時間】①③問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく探究的な学習を行う。

- ②他者と協働して課題を解決し、互いに交流する学習を計画的に行う。
- ③学習の目的や課題を明確にし、活動への目的意識や見通しをもたせる。

【特別活動】①合意形成したことや自己決定したことを、どう実践していくのかを考える時間を確保する。

- ②相手の立場や考え方を尊重したうえで自分の考えを伝え合う活動を充実させる。
- ③課題や議題を児童が自分のこととして捉えられるものにする。
- ③キャリアパスポートの取組を通して、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける。

<家庭との連携>

- 家庭学習の工夫 ・音読カードの活用
・家庭学習の手引きの活用
・10分×学年+10分の習慣
・自主学習の推進
- 家庭との協力 ・基本的な生活習慣の確立
・生活の振り返りアンケート(ニコニコの日アンケート)の実施
・体力チャレンジカードの実施